森のひろば

フォレスト・ニュース

NO.1208
令和８年11月

林野庁 近畿中国森林管理局

大阪市北区天満橋 1-8-75 桜ノ宮合同庁舎
TEL 050-3160-6763
https://www.rinya.maff.go.jp/kinki/



イチョウ（大阪市内）

トピックス：「箕面体験学習の森」（箕面国有林　エキスポ '90 みのお記念の森）の活動（箕面森林ふれあい推進センター）

ニュース：石川森林管理署、島根森林管理署、企画調整課

花草木：コスモス

我が署のスタッフ：山口森林管理事務所

森林事務所等紹介：波賀森林事務所（兵庫森林管理署）

国有林最前線：京都大阪森林管理事務所

トピックス

「箕面体験学習の森」（箕面国有林　エキスポ '90 みのお記念の森）の活動

【箕面森林ふれあい推進センター】

箕面（みのお）国有林（箕面市）を含む大阪府北部や兵庫県南東部の里山林は、炭の中でも最高級とされる「菊炭（池田炭）」を生産するために、木材の計画的な利用を行う輪伐（りんばつ）※1 や伐採後の萌芽を促進する高い位置での伐採で生まれる台場（だいば）クヌギ※2など、昔から人々と深い繋がりのある里山林でした。



台場クヌギ（川西市黒川）



菊炭（池田炭）

※1：輪伐とは、森林をいくつかの区画に分け、一区画ずつ順番に伐採を行い、森林資源を継続的に利用する方法。

※2：台場クヌギとは、菊炭の材料として10年ごとに、地上1m程度のところで伸びた幹の伐採を繰り返し、主幹がずんぐりとなったクヌギのこと。

また、この地域は、生物の棲みやすい豊かな環境が広がっているため、「日本三大昆虫生息地（高尾山（東京都）・貴船山（京都府）・箕面山（大阪府））」のひとつとして知られています。

しかし、戦後の電気・ガスの普及や建築用材の生産を目的とする拡大造林が行われ、スギ・ヒノキなどの人工林が増加した結果、かつての里山林は姿を消していきました。

こうした背景を踏まえ、当センターでは、展望台周辺のヒノキの伐採跡地へ、クヌギやコナラなどの落葉広葉樹を植栽・転換することで、オオクワガタに代表されるようなたくさんの昆虫が生息できる、台場クヌギのある里山林の再生「オオクワガタの棲める森づくり」に取り組んでいます。



2010年（平成22年）展望台付近



2026年（令和8年）展望台付近

2010年～2011年（平成22～23年）には、「里山再生と生物多様性の向上を目指す市民参加型の森づくり活動」として、箕面市内の小学校などで育てた苗木を、園児・小学生・一般募集の参加者で植栽しました。



2010年（平成22年）　園児による植樹



2010年（平成22年）　記念植樹除幕式

その後も、クヌギやコナラを植栽した子供たちによる下刈り体験や日本森林ボランティア協会による保育作業、シカ柵の設置・点検・補修など、継続した森林整備を進めています。

平成 22 年、記念植樹除幕式に併せて高木の人工林を伐採したことで、多様な植物を観察することができる場へと変化し、現在では、五感で自然を学べる体験型フィールドとして活用しています。



ボランティアによる森林整備



自然を学ぶ学習会

今後、平成 22 年～ 23 年にかけて植栽したクヌギなどの成長に伴い、樹冠が擦れ合う状況となっていることから、除伐の実施やクヌギの有効利用が課題となっています。

このような取り組みの中で、箕面の森では四季を通して多様な生きものに出会えます。鳥類では、春にはキセキレイやヒガラ、夏にはホオジロやアオゲラ、秋にはコゲラやメジロ、冬にはエナガやシジュウカラなどが見られます。また、昆虫では、ミヤマクワガタやショウジョウトンボをはじめ多数の昆虫類を観察することができます。園内にはビオトープも整備されており、アカハライモリやモリアオガエルなどの姿を見ることもできます。

エキスポ 90′ みのお記念の森内の「体験学習の森」では、自然再生の取組により、多様な植物・生物などが息づいています。紅葉の季節にあわせて森林内を散策すれば、自然の魅力をより深く体感できる、充実した一日をゆったりと過ごすことが出来ます。

この秋は、箕面の山で、からだ全体で自然を感じてみてはいかがでしょうか。

園内の生き物たち



キセキレイ



ホオジロ



コゲラ



エナガ



ミヤマクワガタ



ショウジョウトンボ



キンモンガ



モリアオガエル

【箕面森林ふれあい推進センター：近畿中国森林管理局】

ホーム > 近畿中国森林管理局へようこそ > 森林管理局の概要 > 箕面森林ふれあい推進センター

URL：https://www.rinya.maff.go.jp/kinki/minoo_fc/index.html